

## 6 貧困率の状況

平成27年の貧困線(等価可処分所得の中央値の半分、熊本県を除く。)は122万円となっており、「相対的貧困率」(貧困線に満たない世帯員の割合、熊本県を除く。)は15.6%(対24年△0.5ポイント)となっている。また、「子どもの貧困率」(17歳以下)は13.9%(対24年△2.4ポイント)となっている。

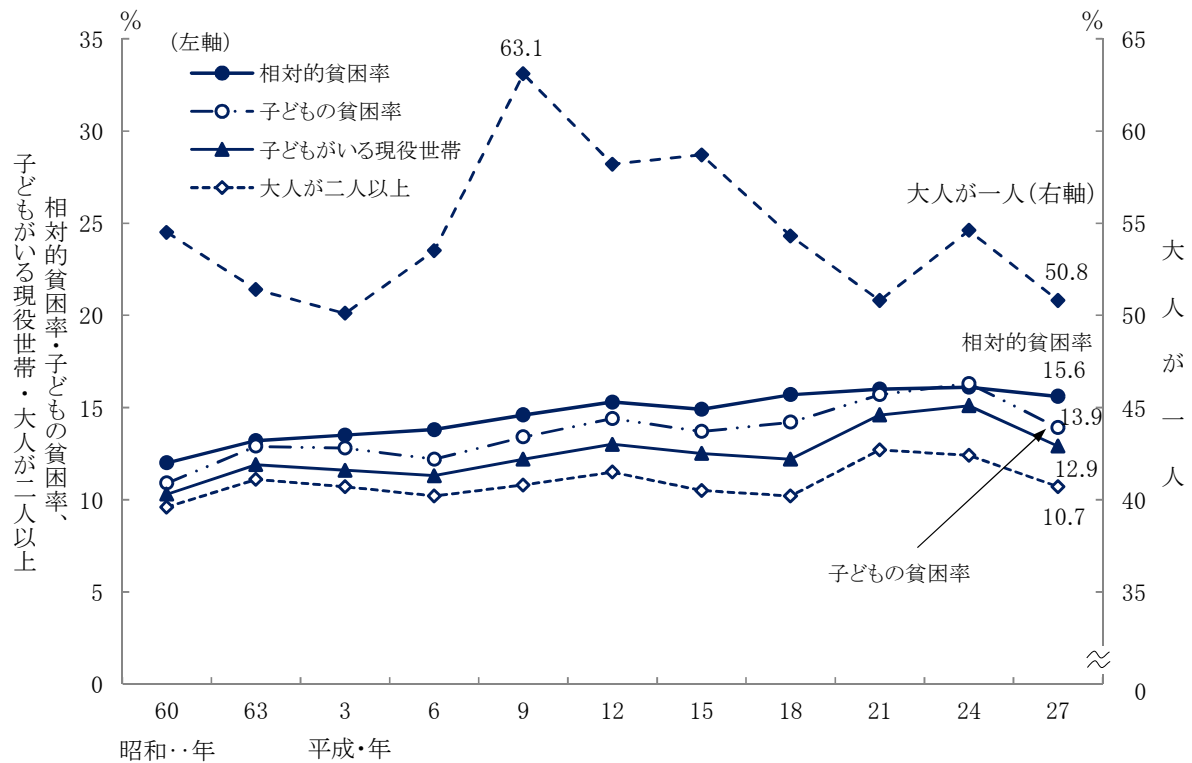
「子どもがいる現役世帯」(世帯主が18歳以上65歳未満で子どもがいる世帯)の世帯員についてみると、12.9%(対24年△2.2ポイント)となっており、そのうち「大人が一人」の世帯員では50.8%(対24年△3.8ポイント)、「大人が二人以上」の世帯員では10.7%(対24年△1.7ポイント)となっている。(表10、図15)

表10 貧困率の年次推移

|            | 昭和<br>60年 | 63   | 平成<br>3年 | 6    | 9    | 12   | 15   | 18   | 21   | 24   | 27   |
|------------|-----------|------|----------|------|------|------|------|------|------|------|------|
|            | (単位: %)   |      |          |      |      |      |      |      |      |      |      |
| 相対的貧困率     | 12.0      | 13.2 | 13.5     | 13.8 | 14.6 | 15.3 | 14.9 | 15.7 | 16.0 | 16.1 | 15.6 |
| 子どもの貧困率    | 10.9      | 12.9 | 12.8     | 12.2 | 13.4 | 14.4 | 13.7 | 14.2 | 15.7 | 16.3 | 13.9 |
| 子どもがいる現役世帯 | 10.3      | 11.9 | 11.6     | 11.3 | 12.2 | 13.0 | 12.5 | 12.2 | 14.6 | 15.1 | 12.9 |
| 大人が一人      | 54.5      | 51.4 | 50.1     | 53.5 | 63.1 | 58.2 | 58.7 | 54.3 | 50.8 | 54.6 | 50.8 |
| 大人が二人以上    | 9.6       | 11.1 | 10.7     | 10.2 | 10.8 | 11.5 | 10.5 | 10.2 | 12.7 | 12.4 | 10.7 |
|            | (単位: 万円)  |      |          |      |      |      |      |      |      |      |      |
| 中央値 (a)    | 216       | 227  | 270      | 289  | 297  | 274  | 260  | 254  | 250  | 244  | 245  |
| 貧困線 (a/2)  | 108       | 114  | 135      | 144  | 149  | 137  | 130  | 127  | 125  | 122  | 122  |

- 注: 1) 平成6年の数値は、兵庫県を除いたものである。  
 2) 平成27年の数値は、熊本県を除いたものである。  
 3) 貧困率は、OECDの作成基準に基づいて算出している。  
 4) 大人とは18歳以上の者、子どもとは17歳以下の者をいい、現役世帯とは世帯主が18歳以上65歳未満の世帯をいう。  
 5) 等価可処分所得金額不詳の世帯員は除く。

図15 貧困率の年次推移



- 注: 1) 平成6年の数値は、兵庫県を除いたものである。  
 2) 平成27年の数値は、熊本県を除いたものである。  
 3) 貧困率は、OECDの作成基準に基づいて算出している。  
 4) 大人とは18歳以上の者、子どもとは17歳以下の者をいい、現役世帯とは世帯主が18歳以上65歳未満の世帯をいう。  
 5) 等価可処分所得金額不詳の世帯員は除く。